

組織		山口大学						
		医学部						附属病院(卒後)
使命	教育理念・目標	医学部規則	理念・目的、目標	ミッションの再定義(強みや特色などの役割)	アドミッション・ポリシー(求める学生像)	ディプロマ・ポリシー	医学教育モデル・コア・カリキュラム	臨床研修の目標
時期	平成12年4月制定		平成13年7月制定	平成25年度、文部科学省の指示により、全国の大学で分野ごとに作成(医学系分野)	令和3年度入試(大学入学共通テスト開始)に合わせ変更	平成29年度、学校教育法施行規則の一部改正(3つのポリシーの再構築)に合わせ変更	平成28年度改訂版	令和2年度、医師臨床研修制度見直しに合わせて変更
対応委員会			医学部及び医学部附属病院改善計画検討委員会	医学系代議員会	医学科入試委員会	医学科教務委員会	医学科教務委員会	医療人育成センター
内容	発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場	第1条の2 本学部は、医学・医療の専門的知識及び技術の教授並びに豊かな人間性を涵養する教育を行い、人類の健康の増進に資する研究を推進し、社会・時代のニーズに応える高度な知識及び技量を「発見し」、「はぐくみ」、「かたちにする」人材を育成することを目的とする。	理念・目的1. 医学・医療の専門知識と技術を教授し、豊かな人間性を涵養する。 理念・目的4. 医学・医療の知識・技術の発展に積極的に貢献し、創造的な人材を育成する。		1. 医学を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人	1. 医療基盤力	A-2. 医学知識と問題対応能力	2. 医師としての基本的な知識・技能と医学・医療問題への対応能力
			理念・目的1. 医学・医療の専門知識と技術を教授し、豊かな人間性を涵養する。 理念・目的3. 医学・医療の国際化に対応できる能力を育成し、国際的視野に立った医学の発展及び国際交流に努める。 理念・目的4. 医学・医療の知識・技術の発展に積極的に貢献し、創造的な人材を育成する。 目標4. 医学・医療分野での実践的英語能力を育成し、国際交流を推進する。 目標6. 医学・医療の向上を目指して、地域社会との交流を深める。	○山口県と連携し、県内の地域医療を担う医師の確保及びキャリア形成を一体的に支援し、医師の偏在解消に貢献する。 ○県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や都道府県がん診療連携拠点病院、山口県肝疾患診療連携拠点病院、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター等としての取組を通じて、山口県における地域医療の中核的役割を担う。	2. 国際的視野を持って、山口県をはじめとした地域医療と、医学の発展に貢献する意欲のある人	2. 地域・国際対応力	A-7. 社会における医療の実践	4. 国際的視野と地域社会への医療貢献
			目標1. 豊かな人間性と高い倫理性を持った医師、研究者を育成する。 目標6. 医学・医療の向上を目指して、地域社会との交流を深める。	○山口大学の基本理念等に基づき、知識・技術と豊かな人間性を基盤とし、総合的な診療能力を持った高度専門職業人として地域医療を担う医師や研究者等の養成を行うことにより、医学・医療の発展と次代への継承を積極的に推進する。	3. 倫理感が高く、医師としての職責を理解できる人間性豊かな人	3. 医療プロフェッショナリズム	A-1. プロフェッショナリズム	1. 医師としてのプロフェッショナリズム
			目標1. 豊かな人間性と高い倫理性を持った医師、研究者を育成する。		4. 目標実現のためにコミュニケーション能力やリーダーシップを発揮できる人	4. チーム医療力とコミュニケーション能力	A-4. コミュニケーション能力 A-5. チーム医療の実践	5. 患者家族や他の医療従事者とのコミュニケーション能力とチーム医療の実践力
			理念・目的2. 医学・医療の変化、医師の社会的役割の変化への対応能力を育成する。 目標2. 問題提起能力及び自己開発能力を育成する。		5. 知的探究心が旺盛で、生涯にわたる自己研鑽を続ける意欲のある人	5. 自己開発力	A-9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	7. 生涯にわたって自己研鑽し共に学ぶ姿勢
			目標3. 実践的臨床能力と先進的医療への対応能力を育成する。 目標5. 知的成果の積極的な公開とその応用を推進する。		6. 自ら課題を発見・提起して論理的に思考し、解決への道筋を探究できる人	6. 科学的探究力	A-8. 科学的探究	6. 論理的思考力と研究マインド
			目標3. 実践的臨床能力と先進的医療への対応能力を育成する。			7. 総合的診療能力	A-3. 診療技能と患者ケア A-6. 医療の質と安全の管理	3. 総合的に診療する実践力とチーム医療における安全管理能力